

初心者による発情同期化処置牛の人工授精での繁殖成績について

野 平 一 幸

目 的

繁殖成績は経営を左右する重要な技術要因である。熟練者が人工授精を行う場合の繁殖成績には、主として家畜の飼養管理の影響が成績を左右する場合が多い。しかし、初心者が人工授精を行う場合には、授精技術の高低が成績に大きく影響する。したがって、人工授精を行う場合、初心者が熟練者との程度の技術差があるかを知ることは、農家の貴重な家畜を授精する人工授精師にとって極めて重要な点である。そこで、本実験では初心者と熟練者との受胎率の違いを明かにし、初心者が授精技術を向上させていく上での繁殖成績のレベルを明かにしようとした。

材料と方法

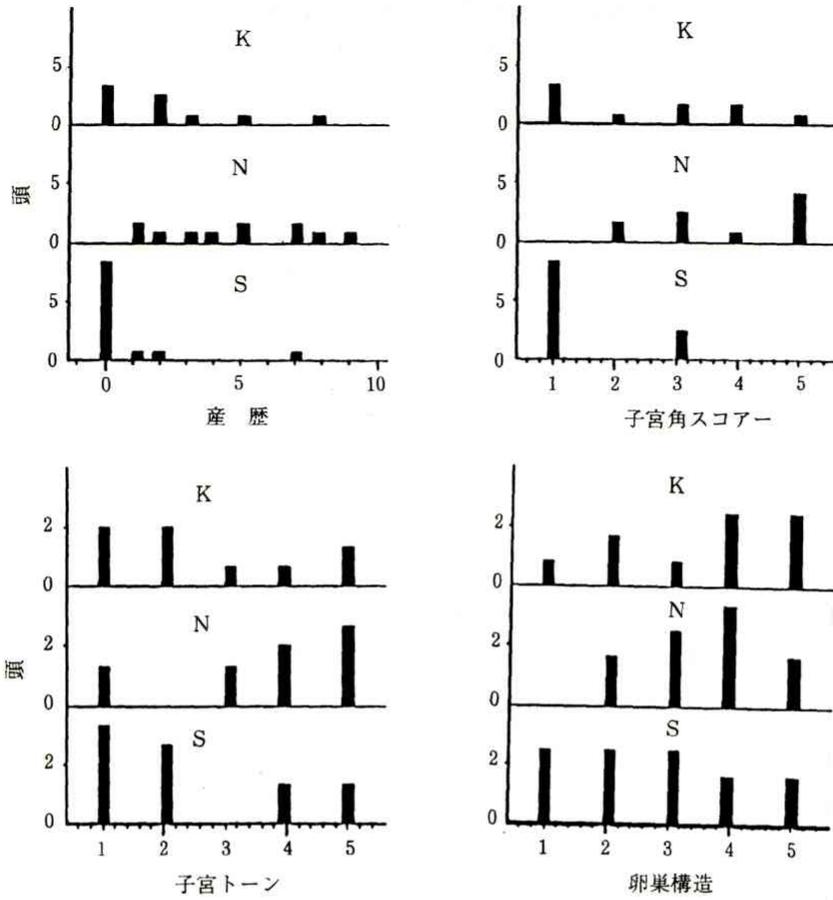
授精者は初心者としてS氏およびN氏とし、熟練者をK氏とした。平成4年10月に24頭の放牧牛をプロスタグランジンを用いて発情同期化処置を行った。S氏は13頭に、N氏は11頭に授精し、発情が回帰した10頭についてK氏が授精した。

第1図に同期化処置牛の授精者別の産歴、子宮角スコア、子宮トーンおよび卵巣構造の分布を示した。これによるとS氏が授精した牛は未経産牛が多く見られた。子宮角スコアが1の個体が多く、子宮トーンや卵巣構造も1や2の評価のものが多かった。一方、N氏が授精した牛は経産牛が多かったため、子宮トーンが4から5が多く、卵巣構造も3から4を示す個体が多く見られた。

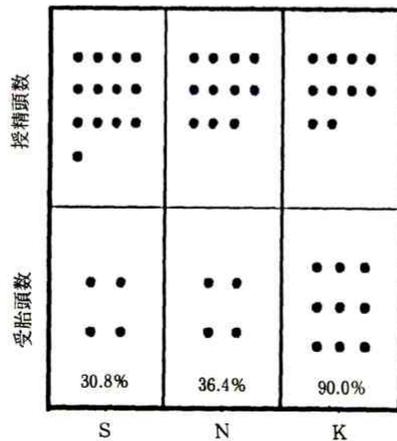
結果と考察

初心者であるS氏およびN氏の受胎率は、30.8%および36.4%と低い値を示した。一方、熟練者であるK氏の受胎率は、90%と高い値を示した。S氏とN氏の間では、N氏がやや高い値を示した。これは授精牛に経産牛が多く、子宮トーンおよび卵巣構造が優れた個体が多かったことや、経験期間がS氏よりやや長かったこと等の影響も考えられたが、有意な差は認められなかった。

以上のことから、人工授精における初心者の技術レベルは高くなく、謙虚な姿勢で技術を研鑽していく必要があると考えられた。



第1図 同期化処置牛の授精者別の産歴、子宮角スコア、子宮トーン及び卵巣構造の分布 (K, N, S: 授精者の違い)



第2図 同期化処置牛の人工授精者による受胎率の違い (K, N, S: 授精者の違い)